

発行
社会福祉法人 いずみ会
秋田市泉菅野二丁目17番11号
TEL.018-896-5880



ウェルビューいずみ



明和会院内
こども園

三浦 ゆりか



ウェルビューいずみ
生活支援ハウス

高堰 由美子



ウェルビューいずみ
老人デイサービス
センター

加藤 和恵



ウェルビューいずみ
障害福祉サービスセンター
(多機能型)

佐藤 瞳

リンデンバウムいずみ



リンデンバウムいずみ
ヘルパーステーション

佐藤 春奈



リンデンバウムいずみ
デイサービス
センター

市川 友絵



ケアハウスの紅葉狩り



特養の収穫祭で



地域ふれあい祭 開会式



百歳のお祝いに



千秋公園の落葉掃き



箸置き作り



泉町内が文化の力で元気に
泉の文化祭実行委員 若松 ナミ

第1回「泉の文化祭」が、昨年10月19・20日の二日間、泉地区コミュニティセンターを会場に開催され賑わいました。ステージ部門には、泉中吹奏楽部アンサンブルを皮切りに合唱、ダンス、詩吟、太極拳等26の出演があり熱心な演技で会場を沸かせました。また、展示部門には、手工芸、書道、陶芸、絵画、写真等9種目・269点が出品され、見事なできばえに心打たれ、感謝の念でいっぱいでした。一階は、食堂・お茶席・防災グッズ展示・農産物販売コーナー等が設けられ、人・物・お金を介して楽しい会話が弾み、笑いと親睦の交流が深まった二日間でした。泉学区はかつて水田地帯を造成してできた町で、昭和30年後半から住宅が建ちはじめ半世紀が過ぎました。現在町は約三千八百世帯、一万人余りが暮らし便利な地域になり、自治活動も積極的にすすめられてきました。今日あるのは創生期当時の先人が住みよい町づくりに一丸となって尽くしてくれたからであり、その姿を忘れる事はありません。

町内の世代交代も進み、近隣関係の希薄化や高齢化が課題となっており、かつての先人たちがめざした心意気に学び、福祉の町「泉の文化祭」が新しい自分探しの一助になっていただければ、大変嬉しいことです。



を黄瀬戸釉にし、淡い黄色身の器を展示する事ができ喜んでいます。



第1回 「泉の文化祭」に参加して
はじめて開催された第1回の「泉の文化祭」に竿燈のお囃子と陶芸同好会、こども園が参加しました。

こども園・大若囃子は、昨年10月19日(土)の午前中の中の出演となり、久しぶりの演技でしたが喜んでいただきました。陶芸同好会はお盆頃から出品することを目指しコーヒークップや花器等を作ってきました。器の釉薬

昨年10月20日(日)に恒例のいずみ会「地域ふれあいまつり」が開催されました。今回の会場はリンデンバウムで、久保田理事長の挨拶から始まり、秋田ムジークシヴエルマーブラスの吹奏楽、そしてウェルビューこども園の園児による歌と踊りがあり、来場されたお客さんから大きな拍手をいただきました。また、販売コーナーでは、野菜、生花、軽食、豚汁、利用者が手作りする小物、「がじまるの木」からはシフォンケーキやパンなどが販売されました。天候があまり良くありませんでしたが、約250名の来場者があり盛大に終了しました。あいにくの天候で竿燈は、小若囃子のみの出演となりました。大勢の前で竿燈囃子が鳴り響き、小若も5年目となるすばらしい演奏ができるようになり皆で盛り入っていました。展示品は、施設利用者の貼

り絵や編み物、書道、鎌倉彫の作品、陶芸の小作品などさりげなく机に置かれていました。今後は施設利用者の皆さんからも参加してもらえ、る折り紙づくりとかリンゴの皮むきコーナーなど実施できれば更に盛り上がるのではと思います。

祝

第13回竿燈俳句大会【入賞作品紹介】
読売新聞社賞
炎天下 小若に飲まず カ水
障害福祉サービスセンター利用者保護者 小野美智子さん

編集後記

あつという間に新年を迎えました。昔から、ねんねんさいいはなあいになり年々歳々花相似さいさいねんねんひとおなじからず歳々年々人不同

といわれますが、今年も皆で小正月餅つきを白と杵で本格的に行いました。毎年のことですがなぜか新鮮な気持ちになります。本年もよろしく願います。
齊藤 壽一





ソレ
ナイスレシーブ!

恒例となっているお茶会では、パンケーキ作りを企画しました。昼食前の時間帯に配慮して、パンケーキをたこ焼き程度の大きさとし、焼き上がる前に調理ということもあり、正しい手洗いの仕方も合わせて行いました。参加者からは、正しい手洗いの手順を知ることができて、良かったとの声が聞かれました。美味しそうに焼き上がったパンケーキに、フルーツやチョコ、生クリーム等を思い思いに盛り付け、皆で食べて会話が弾みました。今後は、日常の生活からヒントを得て、同じ材料でも個性を表現でき、皆で楽しめる様な企画を考えていきたいと思います。

海の日の行事

ウエルビユーいずみ障害福祉サービスセンター

2014年1月号
「月刊デイ」
平成25年12月5日発行
全国版
vol.169
特集の手作り作品ページに掲載されました!
ウエルビユーいずみ障害福祉サービスセンター



昔の田植え



赤富士と桜

【月刊デイ】作品評
和紙の優しい色合いを上手に引き出している作品です。とても和みます。

この度、みんなで作った貼り絵が「月刊デイ」2014年1月号に取り上げられ、利用者も職員も、とても喜んでいきます。みんなが努力しアイディアを出し合った結果だと思えます。前回も貼り絵のことを紹介いたしました。さらにパワーアップし、次から次へと大作に取り組んでいます。「貼り絵をやるために、デイにきているんだからね」との声もあり、皆さんとても真剣です。昨年11月に完成した作品は平成26年の年賀状になりました。「月

第2回 家族懇談会
ウエルビユーいずみ障害福祉サービスセンター
2回目の家族懇談会を昨年11月17日(日)に開催しました。21家族の参加で、4グループに別れ、自宅の様子・施設での様子、そして身体介護の具体的な方法を家族と一緒に学んだりして活発な交流会となりました。家族の想いを深く感じ取ることができ、在宅生活でサービスでの役割を再確認できた貴重な時間でした。いずみ会の三理念に基づき、今後も利用者・家族の要望に応じて参ります。



平成25年度 委員会の取り組み

いずみ会は、各委員会を通じてより一層のサービス向上に取り組んでいます。

安全管理委員会

名称を事故防止委員会から安全管理委員会へと変更しました。昨年11月には救急救命講習会を開催し、37名の職員が受講しました。AED(自動体外式除細動器)の使い方を学び、今後の対応に活かしていきます。



感染症対策委員会

感染症の流行期に突入です。例年の予防策に加え、職員一人ひとりの感染予防に関する知識を深めるために研修会を企画し、全職員の8割以上が受講しました。感染予防はミクロの戦いです。家族や地域の協力も得て感染拡大の防止に努めます。



認知症研修委員会

いずみ会職員全員が認知症について正しく理解し、地域福祉を支える一員として、「認知症サポーター養成講座」を5回に渡って行いました。講師は6名の職員が日替わりで行い、受講者については他事業所からの参加もあり、160名がサポーターの証であるオレンジリングを受取りました。



おいしそうに
焼き上がったわね

「パンケーキ」作り
ウエルビユーいずみ障害福祉サービスセンター
恒例となっているお茶会では、パンケーキ作りを企画しました。昼食前の時間帯に配慮して、パンケーキをたこ焼き程度の大きさとし、焼き上がる前に調理ということもあり、正しい手洗いの仕方も合わせて行いました。参加者からは、正しい手洗いの手順を知ることができて、良かったとの声が聞かれました。美味しそうに焼き上がったパンケーキに、フルーツやチョコ、生クリーム等を思い思いに盛り付け、皆で食べて会話が弾みました。今後は、日常の生活からヒントを得て、同じ材料でも個性を表現でき、皆で楽しめる様な企画を考えていきたいと思います。

「パンケーキ」作り

ウエルビユーいずみ障害福祉サービスセンター

リンデン劇場

特別養護老人ホーム リンデンバウムいずみ

昨年からの新たな取り組みとして、特養2階を中心に「リンデン劇場」と題し、昔懐かしい映画上映を行っています。

上映の際はフロア内が映画館と化し、利用者の皆様は職員の手作りチケットを片手に楽しみにしている様子で入場されます。これまでに「二十四の瞳」や「上を向



いて歩こう」等が上映され、当時は懐かしみ夢中になって鑑賞しておりました。今後も利用者の要望を聞きながら、余暇時間の充実に取り組みしていきます。

北海道・東北ブロック 連絡会開催

障害者就業・生活支援センター

昨年10月25日(金)にエリアなかいち「にぎわい交流館AU」において第12回障害者就業・生活支援センター北海道・東北ブロック連絡会秋田大会を県内の4センターと協力・連携し無事に終えることが出来ました。研修内容は、島根県の就業・生活支援センター「レント」の小倉氏を迎えての基調講演、地元のセンター



職員の進行による5つの分科会、秋田明徳館高等学校の教員による「教育専門監からの話題提供など、参加者の方々からは「大変参考になった」と嬉しい評価をいただきました。この連絡会で他県の支援員の方々と親睦や情報交換することができ、大きな収穫を得ることができました。

「おやぐでクッキング」に出演!

ウエルビユーいずみこども園

全国私立保育園連盟から依頼をいただき、ケーブルテレビ全国番組「キッズステーション」おやぐでクッキング」に出演しました。

こども園の特色ある活動の紹介ということで、つばめ組(5歳児)が陶芸で箸置きを製作する様子を収録しました。施設内に窯があり、いつでも陶芸を体験できることは自慢です。扇形や長方形にかたどった粘土に、いちよう、もみじの葉っぱを楽しく型押しし、世界にたった一つのマイ箸置きを完成させました。毎日の給食で大事に使っています。また、郷土料理の紹介のコーナーでは、地域の方がきりたんぽを手作りしている様子や子どもたちが秋田のきりたんぽをおいしく食べている様子も放送されました。



せんせーい
おかわり!

社会福祉法人 いずみ会「理念」

1 私たちは利用者や家族の気持ちを尊重し、ニーズに応えられる施設をめざします

2 私たちは豊かな知識を身につけ、質の高いサービスを提供できる施設をめざします。

3 私たちは地域とともに力を合わせ、地域福祉に貢献できる施設をめざします。